



国際ロータリー2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2267回 例会プログラム

- 例 会 場/YMCA東山荘
- 開 会 点 鐘/12:30
- ロータリーソング/心をあわせて
- 内 容/昭和の初期と現在
齋藤 保君

会 員 慶 事

- 会員誕生日/3月5日 勝間田太住君
- 夫人誕生日/2月28日 藤田昇司君 ご夫人 昌子様
3月3日 水口正宏君 ご夫人 伸子様
- 結婚記念日/3月2日 嶋田泉太郎君 正江様 ご夫妻
3月4日 山内強嗣君 香世子様 ご夫妻

会 長 挨 拶

高村 繁男



皆様こんにちは、先日16日は三島ロータリークラブの担当でIMが行われました。大勢の方に出席頂きましてありがとうございました。

それでは富士山シリーズ第32話 朝鮮通信使の見た富士山についてお話をさせていただきます。

③朝鮮通信使の見た富士山

朝鮮通信使は室町時代から江戸時代にかけて朝鮮から日本に派遣された使節団で、永享元年(1429年)から文化8年(1811年)までに17回来日しました。

室町時代の朝鮮通信使は京都の室町幕府の将軍に、江戸時代の朝鮮通信使は江戸幕府の将軍に面会しましたから、江戸時代には東海道を通り、その途中には当然富士山を目の当たりにしたのでした。

享保4年(1719年)の第9回使節団の一員として来日した申維翰は、富士山について「余は輿を停めてこれを眺めた。すなわち、一朵が亭々として白い玉簪の如くまっすぐ晴天を挿し、中腹から下は雲霞におおわれて翳となる。これあたかも太華山の玉井、白蓮花を露出するに似る。ほとんど世間で恒に見られるところのものではない。(中略)海外の諸山を考へるに、富士山に並ぶものはないであろう。倭人は、その山の真面目を見るを得て、賀をなす。けだし、万丈の高峰が屹然として空につばね、その状はあたかも円簪の如し、そして山の頭部は、白玉の如くにして、一塵も染まぬ。」と記しています。

このように文学の素養がある人物が朝鮮通信使には同行していたため、富士山に関する漢詩も数多く詠まれましたが、その漢詩には五岳という語が時々見られました。五岳は中国を代表する5つの山、東岳泰山(1545m)・南岳衡山(1298m)・中岳崇山(1440m)・西岳華山(2016m)・北岳恒山(2016m)のことで、富士山はこれらの山とは比べものにならないということから、日本・中国・朝鮮の三国の中で一番の山であるという観念が江戸時代には広く流布しました。そして、江戸時代後期に流行した富士講では、富士山の代名詞として三国第一山という表現がなされるようになるのでした。

会長挨拶用
QRコード

2/21の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
58名	57名	53名	92.98%	100%

欠席者(4名) 神谷高義君・勝又 洋君・芹澤正明君・山内強嗣君

※やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

2/7のメーキャップ

1月25日	富士宮西RC	芹澤 正明君
2月8日	裾野 RC	橋本 喜市君
2月8日	裾野 RC	井上 元君
2月8日	裾野 RC	神谷 高義君
2月8日	裾野 RC	水口 正宏君
2月18日	柿田川 RC	小早川 豊一君
2月19日	箱根 RC	秋田 敬君

2/21のスマイル

- ・うっかりと会費未納につき、先週払い込みました。大変失礼いたしました。
菅沼 久君
- ・私の愛娘が、スキー検定で合格率3分の1の難関と言われるジュニア級に
みごと1回で合格しました。文武両道。いけてます。豊山 篤君

奉仕を通じて平和を
Peace through Service次 回
3月7日の
例 会★12:30点鐘
★YMCA東山荘
★第3回 クラブフォーラム
全員



「学校で学べること 学べないこと」

国立青少年教育振興機構
国立中央青少年交流の家

所 長 服部 英二 様

1 自己紹介

私は文部科学省の役人、行政屋ですが、行政マンとは程遠い人間です。文部科学省というと、学校をイメージされると思いますが、私の場合、ほとんどが学校外の「社会教育」、中でも「青少年教育」の仕事を担当してきました。大学の教員も短い期間でしたが、携わりました。沖縄の青年の家の所長などもいたしました。

2 学校と学校外の教育「社会教育」の教育手法の違い

学校外の教育「社会教育」を説明するのは中々難しく、形式に囚われないので何でもありです。また、社会教育のイメージも人それぞれで、最近は、さらに生涯学習という言葉も出て、益々分かり難くなっています。国では、教育基本法や社会教育法で学校教育以外の社会の場において行われる教育を社会教育と定義付けています。

「学校」とは一般的には「黒板を背にして、カリキュラムや時間割が決まっていて先生が教科書で教える」イメージかと思います。「めだかの学校は、川の中 誰が生徒か…」です。それに対して「スズメの学校の先生は、ムチを振りふり…」です。スズメが電線に行儀よく一斉に並んでいるのに比べて、めだかの学校の方は、誰が教師か生徒かが分からない。皆がお互いに学び合うのが基本です。社会教育は、自由に泳ぎ舞っている、優柔無碍ではあるが、そこで皆で一緒に何か実践をしている。または同じ川という場を共有しつつ、そこで暮らしながら、自分の興味に基づいて色々なことをするという感じがあります。

最近、「家庭・学校・社会教育の連携」がよく言われますが、各々の強み特徴を活かした連携ができるとより効果的です。学校教育は、きっちり学問を教える、社会教育は学校ではできないことをやるというのが一番かと思います。

3 徒弟制の中における学び

学校とは全く正反対の教育、学びを考えていく上で、大事な示唆を与えてくれるのが、ドイツ人のJ. レイプとE. ウェンガーの「徒弟制における学び」の研究です。徒弟が一人前になっていくために、色々な現場で「下っ端」の経験をしながら先輩の仕事ぶりを観察、手伝い、真似ながら技術を習得します。この学びのスタイル、プロセスを「正統的周辺参加」「状況に埋め込まれた学習」という概念で論じたものです。

この学びの特徴は、初めは、組織や共同体のメンバーとして周辺部分に関わりながら、「参加・参画」し、徐々に役割を担い、スキルを身に付けます。そこには「観察学習」や「役割学習」の場がふんだんに用意されているのです。

私達が小さい時には原っぱで野球をしました。中々大きい兄さん達の仲間には入れてもらえません。仕方が無いので傍でボール拾いをする。バットなど貸してもらえませんが、その辺の棒で真似事をしながら遊ぶ。周辺部分で参加し色々な体験をする中で、自然と野球のゲームの仕方や上手な人の動きなどを身に付けた。偶には、兄さん達のメンバーが欠けた時、ある程度できると判断された場合、許されてメンバーになる。その場に参加・参画しながら、体験し、徐々に周辺からメンバーとしての「役割」を担い、実践的体験的に学ぶわけです。真似たり、技を盗むために「観察学習」をしつつ学ぶのです。

もう一つ大事な視点として、技術を順番に学校のように系統的に学ぶというよりは、むしろ作業工程で逆向きや部分を経験する。例えば洋服

を畳む、部分のボタン付けをしてから、最後にミシンや裁断作業をするといったようにです。多分、初めから裁断を任したら、服が台無しになってしまいかねません。

大事なことは、こうした作業を通じて、全体を俯瞰してみることが出来る。関連付け、総合化ができる。部分の仕事をしながら、全体の中の位置付けや何故その作業があるのかを身に付けること、「段取り」を学べます。全体の中で自分に任されている位置や役割・責任も学びます。草野球の例も全体をぼやーと見ているようで、野球というゲームの「全体や本質」を理解するのに役に立っているのです。

学校教育は系統的・計画的に学ぶには適していますが、あまりにも細分化されすぎると全体が見えない傾向があります。

4 変化の激しい社会の中で、求められる総合力、実践の知

基本は「一人前」の社会人を育てること、「體・徳・知」のバランスのとれた人間を育てることだと思います。

アイヌの頭領の条件というのがあります。①狩が上手いこと、②子供に人気があること、③ユーカラが弁ぜられること。①は、卓越した身体能力・技術と鋭敏な感性やスキルを持っていること。②は、人徳がある、心根の優しさや人間的な魅力があること。③アイヌは、文字を持たない民族で、祖先からの大切な教えや歴史を歌のように、叙事詩「ユーカラ」として語り伝えたとありますが、それが弁ぜられるということは、記憶力や表現力に富み、論理的な思考ができること、頭がいい、知が優れていることです。まさに「體・徳・知」です。文部科学省は「生きる力」「生き抜く力」と言っていますが、古今東西、目指すべき人間像は基本的には変わらないのです。

5 社会教育の出番

どんなに社会が変化しようと、その場の状況に応じてフットワークよく判断し、考え行動し解決していける人間をどう育てるかですが、たくさんの「実践的で体験的な学び合いの場」や、「参加することや役割を担う場」が必要であると考えます。

変化が激しく細分化され全体が見通せない社会で、総合的な力の基礎を形づくるために、学び合いの中での実践的な学習や「役割学習」「総合化」が益々求められると考えます。

6 青年の家の使命

青年の家は、一貫して青少年の自立を促すため、集団宿泊生活を通じて、多様な体験活動の場や他者との交流の場、切磋琢磨の学び合いの場を提供してきました。

また、先人達が、次の時代を託す若者達の修練の場としての期待を込めて、国立中央を築いてくれました。根上真一先生のお母さんである根上ツナ先生が並大抵ではない御努力、奔走によって誕生したことはいうまでもありません。もう一人の立役者は岸信介総理大臣です。資料は、昭和33年の1月の施政方針演説と、当施設にご寄贈いただいた岸元総理の書「志は富岳と與（とも）に潔し」です。青年達への期待、特に青年の自律なくして日本の国の真の独立、自立は無いとの意気込みが私には伝わってきます。

こうした、先人達の思いを次の時代にどう引き継ぎつなげていくか。私もこの御殿場で一処懸命、頑張ります。どうか御支援をお願いします。



司会
林 則夫 君



ソングリーダー
秋田 悦夫 君



出席報告
勝又 厚 君

★2013年3月 御殿場RC例会プログラム★				
月 日	時 間	会 場	内 容	担当及び卓話者
3/7 (2268回)	12:30	YMCA 東山荘	第3回 クラブフォーラム	全 員
3/14 (2269回)	12:30	YMCA 東山荘	フルマラソンにチャレンジ	秋田 敬君
3/21 (2270回)	12:30	YMCA 東山荘	今話題の水素水 ～いい水とは？～	株式会社アルテック 代表取締役 田中賢治様 (株)フジスポーツ 代表取締役社長 井口俊靖様
3/28 (2271回)	12:30	YMCA 東山荘	健康ボウリングのすすめ	



皆出席
長田 富夫 君



会員誕生日
山口幸男君・稲葉博之君



第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日

○例会場・事務局/YMCA 東山荘

静岡県御殿場市東山1052

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

http://www.gotemba-rc.gr.jp/

会 長○高村 繁男
幹 事○臼井 良太
会報委員長○秋田 敬